

Epistula

大分県立芸術文化短期大学広報誌「エピストゥラ」

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

2022
Autumn
Vol.68



専攻科音楽専攻管弦打コースの学生

特集記事

音楽科定期演奏会に向けて

「EPISTULA」: 古典ラテン語で“手紙”という意味です。広報室からみなさまへ、芸文短大の“いま”を伝えるお手紙をお届けします。

Epistula

OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE
PUBLIC RELATIONS MAGAZINE

2022 Autumn
vol.68

大分県立芸術文化短期大学広報誌「エピストゥラ」2022年9月9日発行 通巻68号
大分県立芸術文化短期大学 〒870-0833 大分市上野丘東1番11号 / TEL.097-545-0542(代表) / FAX.097-545-0543



EVENT CALENDAR

イベントカレンダー

SEPTEMBER 9月 ▶ DECEMBER 12月

SEPTEMBER 9月

- 17日(土) 18日(日) オープンキャンパス
- 20日(水) 後期授業開始
- 23日(土) 音楽科コンサートシリーズNo.115 若さあふれるコンサート

OCTOBER 10月

- 10日(土) 第58回定期演奏会
- 22日(土) 23日(日) 芸短祭
- 30日(日) 林満理子ソプラノリサイタル

NOVEMBER 11月

- 5日(土) 音楽総合コース 作曲作品展～新たなる音の試み～
- 9日(水) 音楽科コンサートシリーズNo.116「ピアノコース演奏会～ピアノ音楽への誘い～」
- 26日(土)～12月4日(日) 暮らしといんさつ
- 開催日未定 人文系学科創立30周年記念事業(仮称)「スポーツを通じた多様性との触れ合い」
- 開催日未定 人文系学科創立30周年記念「定住旅行から見える世界の姿」

DECEMBER 12月

- 2日(金) 音楽科コンサートシリーズNo.117 管弦打コース演奏会 ～師走に心温まるひとときを～
- 20日(火) モーツァルト作曲 歌劇《コジ・ファン・トゥッテ》(大分二期会)
- 24日(土) オペラサークル Opera Piene di Vita 第32回公演 モーツァルト作曲オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》
- 24日(土) 冬期休業開始

※各イベントは変更になる場合があります

「芸短フェスタ2022」が始まります

本学では、9月～翌3月まで、「芸短フェスタ2022」期間として、コンサートから公開講座、ワークショップまで多種多様なイベントを開催します。詳しくは本学ホームページ、または芸短フェスタ2022リーフレットをご覧ください。



最新情報はこちら



情報をいち早くGet!

大分県立芸術文化短期大学の公式Facebookでは、本学が主催するイベント・展覧会等のお知らせをはじめ、キャンパス内の様子や学生たちが行うさまざまな活動について報告しています。また、サークルやイベント、研究室等でもFacebookを立ち上げています。

<https://www.oita-pjc.ac.jp>

芸文短大 検索

大分県立
芸術文化短期大学



美術科
ビジュアル
デザインコース



美術科
グラフィックアート
コース



美術科
プロダクト
デザインコース



音楽科



国際総合学科



情報
コミュニケーション
学科



大分を楽しむWebマガジン(エディット大分)

<https://edit.pref.oita.jp/menu/>

第58回定期演奏会に向けて

音楽科最大のイベント「第58回定期演奏会」を10月10日(月・祝)、iichiko総合文化センター3F iichikoグラウンシアタで開催します。音楽科の全学生と全教員、卒業生らが出演者としてスタッフとして総力を挙げて取り組みます。ソリストは、声楽・ピアノ・管弦打と毎年替わります。今年度は、管弦打に焦点をあてた構成です。本誌の表紙を飾った、専攻科音楽専攻・管弦打コースの皆さんに聴きどころや意気込みを聞きました。

【ファゴット：川端さん】

演奏曲について、それぞれの作品のあらすじを教えてください。

担当するパートや好きな部分、聴きどころを教えてください。

♪J. ブラームス作曲 運命の女神の歌 作品89

【フルート：津田さん】
ゲーテの古代ギリシャ神話に基づく戯曲「タウリス島のイフィゲニア」の詩を使用したオーケストラ伴奏による合唱曲です。人間を支配する神々の非情さを語った詩で、神々を恐れる様な重々しい響きが冒頭から奏され、最後はそれまでと一転し、長調の優しい響きで締めくくられます。

【ヴィオラ：白川さん】
合唱曲ではありませんが、この曲は特にオーケストラも合唱の良さも十分に楽しめる曲となっています。ブラームスにしか出せない重厚さと、素晴らしいオーケストレーションで、次に演奏される悲歌とは全く違う雰囲気曲となっています。

【クラリネット：平川さん】

この曲は友人のヘンリエッテ・フォイルバッハの追悼のために作曲されました。詩はフリードリヒ・フォン・シラーの「Zerbin」により、死の不可避性に関する嘆きを表しています。3つのエピソードから構成されています。

【オーボエ：横野さん】

最初の木管を主としたメロディはとても美しい旋律です。特に、オーボエ奏者にとってこのメロディはとってもおいしいです!! 合唱とのハーモニーをお楽しみください。

定期演奏会に向けて励む学生へインタビュー (回答者:専攻科 音楽専攻 管弦打コースの学生)

♪J. ブラームス作曲 悲劇的序曲 作品81

【トランペット：三好さん】
同じ作曲家の作品に大学祝典序曲という曲があり、今回演奏する悲劇的序曲はこの曲の対となる曲です。大学祝典序曲を知っている方は悲劇的序曲との違いを、豊かな和声や力強さを感じながらお聴きください。

【トロンボーン：有村さん】
この曲は全部で429小節で構成されていますが、トロンボーンは30〜40小節しか演奏しません。ですが、コラールやハーモニーの重要な役割を果たしています。そういったところにも注目してお聴きください。

♪J. ブラームス作曲 悲歌 作品82



定期演奏会に向けた熱意を聞かせてください。

【担当している楽器の魅力を教えてください】

【川端】私の担当するファゴットは伴奏からメロディーまで幅広く活躍します。

【千北】私の担当するトランペットのよさは華やかで曲のジャンルが多岐にわたるところです。

【本番に向けて1日どれくらい練習をしていますか】

【定期演奏会に向けた意気込みや本番に向けて思うことはありますか】

【専攻科1年生】現在もコロナ禍で厳しい状況が続いていますが、感染予防対策を徹底し、本番に向けて練習を続けています。演奏会を開催できることに感謝し、今年度のメンバーにしかできない音楽を一粒とって演奏したいと思います。

【みなさんに一言お願いします】

【専攻科2年生】今年の定期演奏会は管弦打コースの学生が活躍するプログラムになっています。毎年テーマを1つに絞った演奏会ですが、今年は前半が耳馴染みのよい美しいメロディーが特徴のブラームス、後半は力強くエネルギーあふれるムソルグスキーといったキャラクターの違う2つのテーマを楽しめる演奏会となっております。学生一同、練習に励んでおりますので、ぜひお越しください!

♪M. ムソルグスキー 交響詩「禿山の一夜」(リムスキー=コルサコフ編曲)

【ファゴット：川端さん】
ムソルグスキーはこの曲を1866〜1867年ごろに完成させましたが、生前に日の目を見ることはありませんでした。彼が亡くなったあと、1886年に友人だったリムスキー=コルサコフが編曲し、完成させました。ムソルグスキーのこの曲への想いを感じながら聴いてもらえたらと思います。

【フルート：上ノ瀬さん】
前半は魔物たちの様子を表現しており、不思議で激しい強奏が続きます。後半は、前半からは想像できないような美しい旋律となっています。旋律の対比に注目して欲しいです。

【パーカッション：高橋さん】
この編曲ではメロディーがわかりやすく印象的で、どの楽器も目立つ部分が多いため聴きごたえのある曲になっています。リムスキー=コルサコフの華麗なオーケストレーションにも注目してお聴きください。



♪M. ムソルグスキー 組曲「展覧会の絵」(ラヴェル編曲)

【クラリネット：崎高さん】
1874年に建築家であり、画家でもあったヴィクトル・ハルトマンを追悼して開かれた遺作展にインスピレーションを得て作曲されました。この曲は10個の曲と絵から絵へと歩く場面を表現したプロムナードで構成されており、展覧会で本場に絵を見ているような作品となっています。

【サクソ：坂本さん】

サクソ奏者にとってオーケストラにのることができない数少ない曲のうちのひとつなので、今回演奏することができ、とても嬉しく思います。サクソが演奏するのは2曲目の「古城」のみですが、哀愁を帯びた美しいメロディーがとても魅力的です。

【トランペット：千北さん】

冒頭は有名なトランペットソロからこの曲は始まるのですが、自分の音から音楽が始まる気持ちよさは何物にも代えられないなと私は思います! この曲でトランペットは様々なニュアンスでの表現が必要で、難易度が高くなっています。全曲通して様々な表情があるのでそこもお楽しみください!



芸短フェスタ2022
大分県立芸術文化短期大学

第58回定期演奏会

The 58th Regular Concert

10/10(月) 開場 13:00 入場料 500円
10/10(祝) 開演 14:00

iichiko 総合文化センター

指揮: 森口真司
演奏: 大分県立芸術文化短期大学 管弦楽団・合唱団

演奏曲目
J. ブラームス 悲劇的序曲 作品81
運命の女神の歌 作品89
悲歌 作品82
M. ムソルグスキー 交響詩「禿山の一夜」(リムスキー=コルサコフ編曲)
組曲「展覧会の絵」(ラヴェル編曲)

日時 10月10日(月・祝) 13:00開場 / 14:00開演
場所 iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ
料金 入場料500円[全席自由]

チケット 入場券は本学音楽科、市内各楽器店、トキハ会館3階プレイガイド
発売場所・予約 ※音楽科副手室で予約を受け付け、公演当日会場受付で代金と引き換えにてチケットをお渡しいたします。

問い合わせ 音楽科(副手室) tel.097-545-8758 E-mail:music-s@oita-pjc.ac.jp

法テラスと県弁護士会が本学で「出前授業」を実施



7月22日(金)、共通教育科目「時事ニュース研究」で、くまがい法律事務所 弁護士 熊谷洋佑氏をお招きし、「法教育セミナー」と題した出前授業を行いました。

4学科の1年生、2年生合わせて約100名が参加。熊谷氏から「成年年齢が、20歳から18歳に引き下げられたこと」についてわかりやすく説明がありました。

また、1組3人のグループに分かれてグループワークを行い、クレジットカードの「リボ払い」の怖さや、久しぶりに会う友達から受けた商品販売の勧誘の対処法などについて意見交換をしました。

熊谷氏は「消費者問題は誰にでも起こりえる身近なトラブル。困ったときは自分だけで解決しようとせず身のまわりの大人に相談したり、法テラスなどを利用して被害を未然に防止しないう」と話しました。

令和4度 第1回オープンキャンパスを開催しました



7月16日(土)、17日(日)の2日間、令和4年度第1回オープンキャンパスを開催しました。今年は3年ぶりに対面方式での開催となり、県内外から755名の生徒さんと保護者の方々にお越しいただきました。

今回は新型コロナウイルス感染症予防として、全体会は動画配信という形で行いました。

また、学科説明会は会場を分け、対面と動画配信のハイブリットで行い、多くの方にご覧いただきました。学科の特徴や魅力が満載のプログラムを用意し、参加者のみなさんに充実した1日を過ごしていただけたようでした。

『ラグビーワールドカップの「レガシー」について考える』講義で外部講師をお招きしました



国際総合学科の専門科目「大分の観光と文化」に外部講師をお招きし、『ラグビーワールドカップの「レガシー」について考える』をテーマに御講演いただきました。

外部講師には、別府市RW C 2019推進室(当時)において各国代表チームの合宿誘致などに取り組んでこられた森修二郎氏(現在は別府市役所秘書広報課・広報戦略係長)をお招きしました。官民が連携して受入体制を整えてきた経緯とともに、各種施設や官民連携の組織体制といったハード・ソフトをワールドカップ後も「レガシー(遺産)」として活用していくための方策について御講演いただきました。

山海の自然や温泉資源に恵まれ、宿泊業の集積もある大分県では合宿誘致という面からも交流人口の拡大に取り組んでいることを学べました。

「AOI Pro」による特別講義を開催!メディアデザインの学生が受講しました。



<https://www.aoi-pro.com/jp/>

TVC Mを初め、映画やイベント映像など年間1000本以上を手掛ける日本最大手の映像プロダクション「AOI Pro」と芸文短大との企画で映像制作についての特別講義が4回にわたって開講され、メディアデザインの学生が受講しました。

「AOI Pro」は現在、「AOI Film Craft Lab」などにより映像制作のトップランナーとしてのノウハウを生かした教育や人材育成にも力を入れており、今回はその一環として開催されました。

米津玄師さんのミュージックビデオなどで知られる林響太郎さんの講義から絵コンテの書き方まで、クリエイティブの最前線に触れる貴重な学びの機会になりました。

竹田キャンパス通信

Taketa Campus Correspondence



竹田キャンパスは、ゼミやサークルでの合宿、創作活動の拠点として竹田市に2010年4月にオープンした、芸文短大と地域との交流の場です



ここ竹田キャンパスの職員室は地域の方々に自由に使ってもらう場所として囲碁やゲートボールの休憩等に使用してもらっています。

また、各選挙の際は選挙会場としての使用もあります。ちなみに私はその職員室から10mも離れていない男子更衣室(畳3畳)を寝床としておりまして、つまり朝起きて10秒で選挙に行ける場所に住んでいます。と言うか選挙会場に住んでる事になるのでしょいか。選挙の度に「もしかしたら日本で一番選挙会場に近い投票者かも」と思っています。(笑)

非常勤講師、大学OB 前田 亮二

松田華音さんによる公開レッスンを行いました



7月5日(火)、モスクワ音楽院主席卒業のピアニストの松田華音さんによる公開レッスンをを行い、専攻科音楽専攻ピアノコースの学生5人が受講しました。

当日はラフマニノフ：交響的舞曲Op.45より第1楽章などの2台ピアノアンサンブルやピアノソロなど、計4曲を直接ご指導いただき、演奏表現や技術について学びました。

学生からは「響きの作り方や構成が本当に勉強になりました。松田さんの音を生で聞ける時間が本当に幸せでした」「技術的な所や表現的な所も色々アドバイスをいただけてとても勉強になりました」「もっと周りの響きを気にして音色を研究し、歌曲などを聞いて勉強したいと思いました」などの感想が寄せられました。

竹田市で食育ツーリズムを実施しました

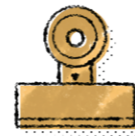
7月23日(土)、大分県竹田市において「食育ツーリズム」をサービスマーケティングの一環として実施し、23名の学生が参加しました。
竹田市で夏の風物詩となっている「とうきびフェスタ」は、新型コロナウイルスの影響もあり3年連続中止となりましたが、より多くの方々に竹田市の魅力を伝えて欲しいという竹田市民の皆さまからの要望もあり、関係者全員が、当日朝に抗原検査を受け実施する運びとなりました。
朝8時半から全員でとうきび(とうもろこし)の収穫支援や、とうきびを使ったまんじゅうやお弁当などの食品加工、道の駅における青果と加工品の商品販売、卯野農園におけるとうきびの皮むき作業などを体験しました。
商品販売では、商品のポップ制作やのぼりを作った呼びかけ、マイクを使っての積極的な商品アピールにより、用意した100セットを2時間で売り切りました。



また、竹田市街地に移動し、城下町竹田の観光名所やカフェなどを散策しました。今回の活動で、各自が撮影した写真や動画などにコメントを付けて、SNSで情報発信を行います。

AIとドローンに関する学習会と操作訓練を行いました

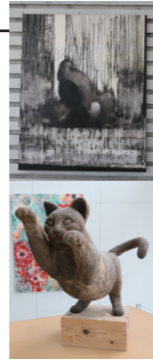
7月20日(水)と24日(日)の2日間、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所主催の「AI(人工知能)とドローンに関する学習会およびドローンの操作訓練」が本学で行われ、大分県立芸術文化短期大学、IVY大分高度コンピュータ専門学校、日本文理大学、大分大学の学生ら、延べ50名が参加しました。
同研究所では、大分県内の子供たちを対象にした最新技術について学ぶワークショップを行う予定となっており、これを支援するため、今回の学習会が企画されました。
学習会ではAI技術の特徴、先端の活用方法や、ドローンの仕組み、用途、規制、操縦方法などについて学びました。体育館で実際にドローンを操縦し、グループごとに撮影を行い、技術習得を試みました。また、最新技術を用いて社会的課題を解決するアイデアを出すグループワークが行われ、他大学の学生らと議論を通じて交流を深めました。



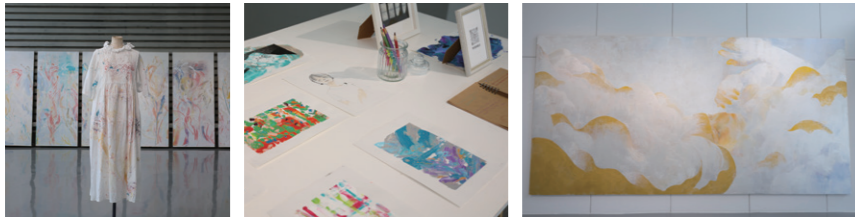
学内ギャラリー作品介绍



<6月27日(月)~7月2日(土)>
「子供→大人展」美術科 美術専攻2年 15名



<7月11日(月)~7月15日(金)>
「優しいあの子」専攻科造形専攻2年 三好 絢子



<7月19日(火)~7月23日(土)>
「レプリミニッツ」美術科デザイン専攻グラフィックアートコース2年生・専攻科造形専攻生



学長

小手川 大助

似顔絵:学長秘書 首藤尚子

学長コラム
生きる欣び

最も評価されている医系大学の元医学部長の話です。いわく「手術の際は個別分野での最高の医師を揃えてチームで手術をする」と。入学試験について、いわく「本学はいわゆる優等生はとらない」と。いわく「特に優等生は研究者にむかない。なぜなら、研究というのは1万回実験して成功するのは1回というように、失敗が普通であり、学校で高得点を取ってきた優等生は失敗が連続することが普通である研究には向かないから」。
彼は免疫学の大権威で、スタンフォード大学医学部留学時代に、そのお陰で臓器移植が可能になったという大変な発見をしてノーベル賞候補にもなった人であり、日本免疫学会の会長も務めていました。
先生は、次のように言っています。「人間が生まれつき持っている免疫力が一番重要で、これを高い状態に保てば病気に対しても抵抗力が強い。ワクチン注射も基本的にはこのような抵抗力を呼び覚ますためのきっかけである。免疫力を一番落とすのがストレスである。したがってストレスフリーになることが健康を保つうえで重要である」。
「不良長寿の勧め」という本やYouTubeに、どうすればストレスをなくせるか面白い意見が載せられているのでご参照ください。

進精是



専攻科

2022年第13回湧き上がる音楽祭in北九州 コンチェルト演奏会
【コンチェルト演奏会出演オーディション合格】
橋本 阜(音楽専攻 ピアノコース 1年)

ハンプルク音楽大学夏期マスタークラス
【オーディション合格】
萩原 そのか(音楽専攻 ピアノコース 2年)



学友会情報



こんにちは!学友会です。10月22日(土)・23日(日)に芸短祭を行う予定です。サークルのステージ発表、今年は飲食の屋台、雑貨などの出店も企画しています。今年も豪華ゲストをお呼びする予定です!芸短学友会のTwitterやInstagramをチェックしてください!!私たち芸短祭実行委員と芸短祭と一緒に盛り上げましょう!是非、ご家族・ご友人などをお誘いのうえ、ご参加ください!お待ちしております!!

Twitter: @GakuyuGeitan
Instagram: @geitandayooo